

國府津から

蓬田(生)寄

旅、私は旅が好きだ。理由は考へてゐない。五十三次を徒歩で旅したいといふ若い頃からの願ひは、半は未だに私の課題である。業平や阿彌や宗盛やの海の旅も、彌次や北の酒落はなくとも、西行の超脱はなくとも、角で心行くばかり五十三次を草鞋で旅して見たい。これは私なやむ現代人の心理か。今日はこの旅相も變らぬ月並な鐵路の旅ではあるが、時に幸あつて、車窓を撫でる新線が嬉しい。東海が二十五回を数へた大根は、完成に近い橋が朝霧に半ば埋まつてゐる。河川は、お江戸日本橋七ツ立ちの東海を流したの十時、眞淵の奥城も、乗けお馬の鈴が森も凡ては、煤煙を過ぎる。リチャードの波は、生麥である。東禪寺事件と生麥とは、幕末の日本武士の扶杖を申込んたから。名にノイボデイ、エニボデイ、今の中村正直の噴飯さか。笑千九原の碑石には、彼も永藤出やう。鎌倉大草紙の小栗判官手姫の傳説となつてゐる。今は急テスボカ、戀物語りも急いで變つて昔を偲ぶよす。浪間外水如天の春風を偲び、三千年のありし世の鳴。馬駕籠もなくなつて、今も澤山。代は風情を消して、大磯を過ぎた。埋もれるだらう。大磯を過ぎた。香樹の歌は今や、谷を過ぎた。相の鐘の歌は、今や、谷を過ぎた。に中食、車窓は黄色に明るく、

力迫の藝至麗華壯宏

松竹巨作 ◆ 週間朝日誌上掲載
原作：池津勇次郎 撮影：桑原 昂
脚色：東路 國彦 監督：島津保次郎
文 佛 マルセーユ出帆 全
龍田静枝・奈良眞養・新井 淳・若葉信子
物語り：は南國の港から日本への航海途上に起る数奇な極めしもの
パリイのオペラ劇場、市街、デパート、マルセーユ港等の
大セットにまじり驚かされませよ。
ユニヴァーサル・カール・レムレエ提共
原作：小カール・レムレエ氏
主演：ジョーヂ・ルイズ氏
No.4 大學生生活 全
第五篇 ポロ試合 (原名運動上の勇氣)
第六篇 大自動車競争 (原名野外横断競走)

日活特作 ◆ 婦女界連載
原作：三上 於見吉
監督：高橋 嘉康
悲劇 鴛鴦呪文 全
遠山 満 (米大陸に激賞され)
小原小春 (歸朝劇入社) 第一回主演
助演：市川小文治、楠英二郎、瀧川銀潮、淺香新八郎

22日寫眞替り
卷廿全 (藏臣忠大) 映上日近
館平

吸入用酸素酸素吸入器
正確な体温器寒暖計

特約 警備平町
開内薬局
電話四〇番

平看護婦會
會長 清野キヨ
平町字南町 電話三〇七番

株券紛失廣告
一、小名濱水産株式会社 株券
甲第貳參九號 (拾株券壹枚)
右紛失候間及廣告候也
小名濱水産株式会社

社告
本社員と稱し廣告募
集するもの有之候へ
共本社員として
館愛二郎以外
には無之に就き御注
意相成度候
磐城經濟新報社

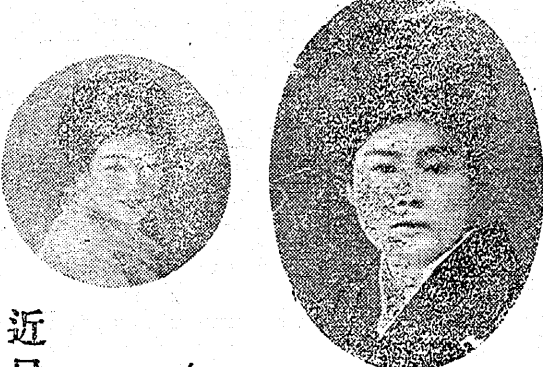


町田平果物店

耳鼻咽喉科專
氣管食道科門
病室完備 自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

外科一般
醫學博士 藤本 順
産婦人科
院長 木村寅次郎
平町新川町 電話一六四
木村病院
病室完備
入院隨意

米國再歸朝女流浪曲權威者
女流浪界の橫綱
前田節子嬢
女流浪界の花形
前田八重子嬢
近日聚樂館に開演



一葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

平町田町 (電話五一三番)
高久病院
醫學士 高久 忠
新湯醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

治淋新劑 強タカジリン
絶無副作用 絶無痛感 絶無苦味 絶無臭気 絶無汚濁 絶無着色 絶無変色 絶無沈澱 絶無浮遊 絶無残渣 絶無汚穢 絶無臭気 絶無汚濁 絶無着色 絶無変色 絶無沈澱 絶無浮遊 絶無残渣 絶無汚穢
特約店 大平屋藥店
平町一丁目 電話四六二番

平町紺屋町
吉田眼科病院
電話六八番
◎免狀所有看護婦入用